誓 約 書

当社は、下記１に該当せず、将来においても該当しないことを誓約します。また、貸付を受けた国立大学法人東京医科歯科大学の財産の使用に当たっては、下記２に掲げる使用等を行わないとともに、暴力団員等による不当介入を受けた場合には、下記３の措置を行うことを誓約します。また、当方が下記１に該当しないことを確認するため、当方の個人情報について、国立大学法人東京医科歯科大学が警察当局へ情報提供することに同意します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることと

なっても、異議は一切申し立てません。

記

１ 契約の相手方として不適当な者

(1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

(2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

(3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

(4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき

(5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

(6) 暴力団又は暴力団員及び(2)から(5)に定める者の依頼を受けて公募に参加しようとする者であるとき

なお、役員等に変更があった場合は、速やかに変更後の役員名簿を提出します。

２ 公序良俗に反する使用等

暴力団若しくは法律の規定に基づき公の秩序を害するおそれのある団体等であることが指定されている者の事務所又はその他これに類するものの用に供し、また、これらの用に供されることを知りながら、貸付の対象となる土地等を第三者に転貸し又は賃借権を譲渡すること。

３ 警察への通報等

(1) 貸付を受けた国立大学法人東京医科歯科大学の財産を使用するに当たって、暴力団又は暴力団員、社会運動標ぼうゴロ（※１）、政治活動標ぼうゴロ（※２）、その他暴力団関係者から、不当要求又は業務妨害を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、速やかに国立大学法人東京医科歯科大学と連携をして、必要に応じて警察への通報等の対応をとること。

(2) (1)による警察への通報等を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により、国立大学法人東京医科歯科大学に報告すること。

※１ 社会運動を仮装し又は標ぼうして、不正な利益を求めて暴力的不法行為等を行

うおそれがあり、市民生活の安全に脅威を与える者

※２ 政治活動を仮装し又は標ぼうして、不正な利益を求めて暴力的不法行為等を行

うおそれがあり、市民生活の安全に脅威を与える者

国立大学法人東京医科歯科大学

学長　　吉　澤　　靖　之　殿

　　　年　　月　　日

住所又は所在地

氏 名又は名 称